

茨城大学杯 茨城県中学校男女バレーボール選手権大会

地域交流

[代表者] 教育学研究科教科教育専攻 M2 則武 宏典

[連携先]

岩間中学校 他

[参加者]

則武 宏典 (教育学研究科・M2)

武田 孝太 (研究生)

平久 知子 (教育学部・4年)

田口 愛 (教育学部・4年)

竹澤 萌 (教育学部・4年)

筒井 博美 (教育学部・4年)

景山 健太 (理学部・3年)

二瓶 哲郎 (理学部・3年)

須藤 雄介 (教育学部・3年)

大久保 優輝 (教育学部・3年)

池田 愛 (教育学部・3年)

新妻 沙佳 (教育学部・3年)

栃本 麻美 (教育学部・3年)

渋谷 美幸 (人文学部・3年)

江口 晃 (工学部・2年)

小川 佳昭 (工学部・2年)

吉村 智萌 (工学部・2年)

菊地 知子 (教育学部・2年)

長山 恵 (教育学部・2年)

越沼 若菜 (教育学部・2年)

大竹 愛美 (教育学部・2年)

橋本 誠子 (教育学部・2年)

春日 菜季 (理学部・2年)

米川 舞 (教育学部・1年)

西崎 麻衣 (農学部・1年)

[プロジェクトの成果]

今年から本大会を運営するに当たり、茨城大学の「学生地域参画プロジェクト」の支援を得て、大きな成果を得ることができたと言える。

第一に、参加者全員分のパンフレットを作成することができた。パンフレットには全出場校のデータを書けるようにした。当日のトーナメント表や練習内容、また、顧問の先生の普段の練習の参考になればと考え練習マニュアルも載せた。パンフレットを作成したことにより、参加校の生徒にも大学生にも記録として残るし、このような活動をしていることを生徒の保護者の方々にも理解していただけたと思われる。

次に、優勝トロフィーは中体連などの大会のものよりも格段に大きく、生徒たちに頑張る気を起こさせる一因になった。来年度は個人賞や、チーム賞なども表彰できればと考えている。実際に、講習会で中学生が大学生に指導を受けている風景を見て、中学生たちは感嘆し、また積極的に大学生に教えて下さいと聞いている姿が見られた。

今大会は、茨城大学バレーボール部に教員志望の学生が多くいるので、茨城大学出身の先生方、また茨城大学バレーボール部OBで教員になった方に実際に中学生を指導する経験をさせていただいている。日頃は自分たちが練習し大学の監督を中心に指導してもらっている。しかし、このような大会では、自分たちが指導する立場になり、実際に指導する難しさを実感することのできる貴重な場である。日頃の練習の意図や、声をかけることの大切さ、コミュニケーション、みんなを引っ張っていくリーダーとしての立ち振る舞いを各個人が考え、実践し、貴重な体験ができたと思われる。他にも、大会を開催するに当たっての準備の大変さ、当日の進行など裏方の仕事も経験でき、いい勉強になったと思われる。

今大会はここ数年、男子の参加校がないので来年は男子の参加校を、また女子の参加校をもっと増やし規模を大きくして開催したい。そのために、バレーボールコートをも4面張れる体育館の予約を早いうちから取りたい。また、本大会の高校生版を開催してほしいという声があるので、来年度は検討しようと考えている。

このような大会を伝統的に続けていくことで、茨城大学バレーボール部の学生のためにもなり、茨城県のバレーボールの活性化にも繋がり、茨城大学のイメージアップにもなることを期待している。